

福岡県

「自分が住みたい」を具現化 女性経営者のこだわりホーム



「サザンⅡ」の昼食風景。料理をおいしく食べてもうるために、器にもこだわっている

有料老人ホームのニーズが高い福岡県。今回、大阪府に匹敵する160のホームがランキングの対象になつたが、入居率は軒並み100%近い水準だ。

数あるホームのなかで、異彩を放つのは、女性経営者がトップを務める二つの施設だ。

介護型で6位になつた「サザンⅡ」の運営会社へキサ・メディカルの社長は、緒方令子氏。

「白分が歳をとつたら入りたい」と、一見相反する「低価格」と

「質の高いサービス」を実現した。最も安い8畳タイプは入居金50万円、月額利用料は7~8000円。介護保険の

内程



加の費用を度で事足りる
しかしサービスで事足りる
ている。昼食（「
くと、有田焼や伊
りを考えた食材が並
365日、入浴も可能
設のように週2~3回と
や追加料金
さいない。
サザンⅡの

ルの社長は、緒方令子氏。

に抑えたものの、払えない人がかなりの数に上つた。地域が求める価格帯とズレがあつたのだ。そこで、従業員や地域住民へのヒアリングを行つて、はじき出した適正価格で、6年前にサザンⅡをスタートさせた。

質の高いサービスを維持しつつ、低価格を実現するのは容易ではない。まずは外部委託を徹底して排除。毎日、看護師や介護福祉士らがバケツとぞうきんを手にして各居室を回り、床拭きや水回りの掃除を行い、低コストを実現した。

医療面では、病院の総（看護）師長や師長などが夜や休日にボランティアで入居者の相談に乗るとともに、同ホームのスタッフの教育指導に当たる。

反する二つの目標を達成した
IIの入居待機者は、現在50
人、えているという。

**利用者側の発想が生きる
アビタシオン净水**

もう一つ、女性経営者が「自ら住みたいホーム」を実現しているのは、自立・混合型で1位の「アビタシオン净水」である。

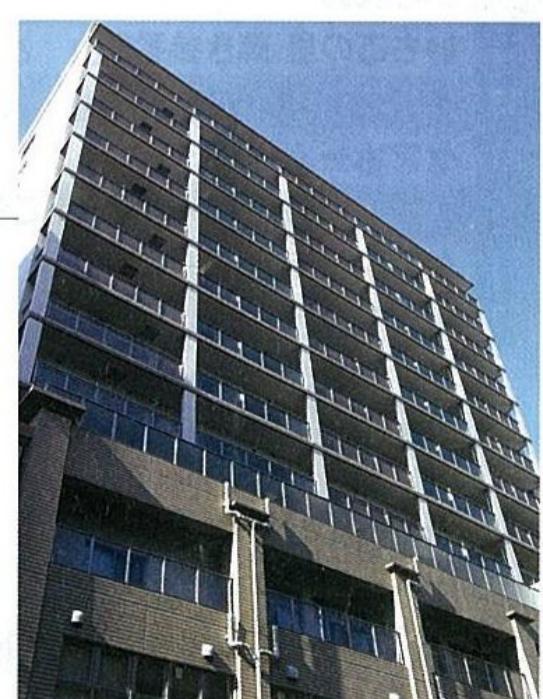
は、医療法人お
た整形外科を母体
に2001年に開
設したグループホ
ームの「サザン」。
ここでは、月額利
用料を12万円程度

建物は、高級マンションを思わせる重厚な造り。同ホームがある複合ビルには、七つのクリニックのほか、薬局、スーパーも揃う。同ホームを運営する新陽の松本公昭営業部長は、他の施設との違いをこう語る。

「徘徊などがない限り要介護認定者も一般居室に受け入れていること。このため、介護が必要になると、他の施設に移らなくてすむ」

現在、要介護認定を受けた27人が一般居室で過ごす。

じつは新陽の喜多岡陽子会長自身が、夫婦で系列ホームに暮らす入居者もある。利用者側からの発想がアビタシオン净水に生かされている。



「アビタシオン净水」は天神地区や博多駅にも近く、ショッピングや観劇など、都心の暮らしを楽しめる